I. 平成28年度 地域密着型金融の取り組み方針

当行は静岡県を基盤とする地域金融機関であり、地域密着型金融への取り組みは恒久的な課題と位置づけております。 平成28年4月よりスタートした第26次中期経営計画「ADVANCE AS ONE~地域・お客さまとともに、持続的成長を実現するために~」では、目指す姿を『存在意義の発揮』とし、基本方針である「金融仲介機能の向上」において、「カスタマーイン戦略による法人営業強化」「マーケットイン戦略による個人営業強化」「地方創生への積極的な参画」等を重点施策として掲げております。

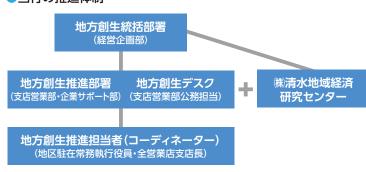
お客さまのライフステージに合わせた経営ニーズを幅広く捉え、より強い信頼関係を築き、真に役立つ商品・サービスの 提供を通じて、地方創生に積極的に取り組んでまいります。

■地方創生への取り組み

地方創生を推進する体制として「地方創生デスク」を設置するとともに、地区駐在常務執行役員と全営業店支店長を地方 創生推進担当者として配置し、各地域の戦略策定会議等への積極的な参画を通じ、静岡県の地方創生に向け清水銀行グ ループが一体となって取り組んでまいります。

具体的には、静岡県の「美しい"ふじのくに"まち・ひと・しごと創生県民会議」における、5圏域の「地域会議」のうち、東部、中部、志太榛原・中東遠、西部の4圏域の会議に頭取・各地区駐在常務執行役員が構成員として出席しております。平成28年6月現在、静岡県内12市町と地方創生に係る連携協定等を締結し、10市町の総合戦略策定に向けた会議等に参加しております。

●当行の推進体制





静岡市移住支援センターとの連携

静岡市移住支援センター(千代田区有楽町交通会館内)との連携により、東京都内から静岡市内への移住および静岡市内での創業を希望していた事業者様に対し、創業支援を行いました。

静岡市と金融機関が連携した創業を伴う移住支援としては初の事例となります。

●市町との連携協定等の締結

市町名	連携内容			
三島市	パートナーシップ協定			
静岡市	包括連携協定			
磐田市	包括連携協定			
掛川市	包括連携協定			
島田市	包括連携協定			
藤枝市	包括連携協定			
沼津市	パートナーシップ協定			
伊東市	創業支援に係る相互協力合意			
富士宮市	包括連携協定			
富士市	包括連携協定			
袋井市	包括連携協定			
菊川市	包括連携協定			

●市町における総合戦略策定に向けた会議等への参画

市町名	会議体
函南町	地方版総合戦略策定に伴う産業振興・基盤整備PD会議
富士市	富士市まち・ひと・しごと創生懇話会
静岡市	静岡市創生会議(静岡県創生県民会議中部地域会議)
藤枝市	藤枝市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会
島田市	島田市まち・ひと・しごと創生金融機関会議
吉田町	吉田町まち・ひと・しごと創生地域金融機関懇話会
菊川市	菊川市地方版総合戦略金融機関懇話会
掛川市	掛川市地域プラットホーム幹事会
磐田市	磐田市まち・ひと・しごと創生金融機関懇話会
袋井市	輝く"ふくろい"まち・ひと・しごと創生金融機関支店長会議

Ⅱ. 平成27年度の地域密着型金融への取り組み状況

■1. 創業・新規事業を目指すお客さまへの支援

●創業·新規事業支援

創業・新規事業に関わる事業計画の策定や公的助成制度・支援融資の活用について、積極的に サポートを行った結果、平成27年度は234件の創業・新規事業支援を実施しました。これまで、 株式会社日本政策金融公庫の静岡県内3支店との「創業支援等に係る業務連携・協力に関する覚 書」の締結や「しみず創業支援資金」の取り扱いを開始することで、創業・新規事業支援件数は毎 期増加しております。創業・新規事業支援は、地方創生における重要な取り組みであり、今後も取 り組みを一層加速させてまいります。

認定支援機関としての新事業計画策定支援

静岡県産業振興財団等の各団体と連携し、経営革新計画・新連携計画の策定をサポートしてまいりました。また、お客さまの新たな製品の開発等への取り組みに対して「ものづくり・商業・



サービス革新補助金」等の公的支援制度を通じて、当行は認定支援機関として計画策定から資金繰りまで幅広くサポートした結果、平成27年度は72件の新事業の計画策定支援に取り組みました。

■ 2. 成長段階における更なる飛躍が見込まれるお客さまへの支援

●成長分野への融資・資金供給手段の多様化

当行は成長が見込まれる「医療・介護」「新エネルギー」「農業」等の分野に対し、ソリューション支援担当者を本部に配置し、営業店担当者と連携することで、お客さまのニーズに迅速に対応する体制を構築しております。

平成27年11月より、株式会社日本政策金融公庫と連携しCLO(ローン担保証券)手法を活用した無担保融資制度「しみず地方創生ローン」の取り扱いを開始し、製造業を中心に幅広い業種のお客さまにご利用いただきました。

また、お客さまに対する資金供給手段を多様化させるため、動産・債権譲渡担保(ABL)を活用した融資に取り組んでおります。平成28年3月末の動産・債権譲渡担保融資は45件、71億18百万円となりました。

今後も、中小企業のお客さまへの資金供給手段を多様化させ、地方創生・地域経済への発展に貢献してまいります。

●ビジネスマッチング

お客さまからのビジネスマッチングのご依頼や行員が営業活動により入手した情報などを行内情報システムに集約し、 最適なビジネスマッチングのご提案ができるようコーディネート等に取り組んでおります。

これらの取り組みにより多くのビジネスマッチングが実現した結果、平成27年度は1,311件が成約となりました。

●海外ビジネスサポート

外部ネットワークの拡充などにより、海外展開を目指すお客さま向けの支援体制整備に引き続き努めてまいりました。



■「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み状況

当行は、経営者保証に関するガイドラインの趣旨を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の一層の促進に取り組んでおります。

	平成27年度実績
新規に無保証で融資した件数(A)	1,375件
経営者保証の代替的な融資手法として、ABLを活用した件数(B)	4件
保証契約を変更した件数	4件
保証契約を解除した件数	98件
ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	1件
新規融資件数(C)	9,524件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合[(A) + (B)]/(C)	14.48%

■ 3. 経営改善・事業再生・事業承継等における支援

●経営改善支援

経営改善計画策定支援や定期的なモニタリングの実施により、お客さまの経営課題解決に向けた提案・支援を行ってまいりました。また、経営改善計画策定などの行内研修を実施し、積極的に行員の経営支援ノウハウの共有や企業に対する目利き力の向上に取り組んでまいりました。

経営改善支援の取り組み状況(平成28年3月31日現在)

				(単位・尤)
平成27年度期初のご融資先数(正常先除く)			1	4,455
	5	ち経営改善支援取り組み先数(正常先除く)	2	164
		うち経営改善計画策定先数(正常先除く)	3	162
		うち平成27年度中のランクアップ先数(正常先除く)	4	2

経営改善支援取り組み率	②÷1)	3.7%
経営改善計画策定率	3÷2	98.8%
ランクアップ率	4)÷2)	1.2%

注1:小数点第2位を四捨五入しております。

●外部機関との連携

経営改善・事業再生・事業承継等の支援については、外部機関との積極的な連携により、効果的かつスピーディな対応に 努めてまいりました。

平成27年8月には、株式会社地域経済活性化支援機構(REVIC)と「特定専門家派遣に関する契約」を締結いたしました。 REVICの持つノウハウを活用することで、事業再生支援や当行における事業性評価の分析手法・体制構築およびソリューション機能の向上を図ってまいります。

・主な外部機関

「静岡県中小企業再生支援協議会」「静岡県経営改善支援センター」「しずおか中小企業支援ネットワーク」「未来事業」「静岡県事業引継ぎ支援センター」「日本M&Aセンター」「みらいコンサルティング」「静岡県中小企業診断士協会」「名南経営コンサルティング」「地域経済活性化支援機構(REVIC)」

●事業承継・M&A支援

事業承継を検討されているお客さまに向けては、本部担当者と営業店が協調し、個別相談の実施や外部機関と連携したM&A等の支援策を提供することにより、お客さまをサポートしてまいりました。

■ 4. 地域活性化に向けた取り組み

●各種セミナーの開催

平成27年9月、静岡商工会議所静岡国際貿易経済協議会等と連携し「ハラールビジネスセミナー」を開催しました。平成27年12月には、フィリピンの投資環境等を紹介するため、静岡県、静岡県国際経済振興会(SIBA)、駐日フィリピン共和国大使館と共催で「フィリピン投資セミナー」を開催し、89名にご参加いただきました。また平成28年3月、お客さまの関心が高い「補助金活用セミナー」を静岡商工会議所と共催し、104名にご参加いただきました。



補助金活用セミナー

注2:ランクアップ先は平成27年3月末の債務者区分が平成28年3月末時点で上方 遷移した先。

興津支店・八木間支店を新築移転オープン

平成27年11月、興津支店の新築移転とともに、八木間支店を当行初のブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式で新しい興津支店内に移転オープンいたしました。

新店舗は、来店されるお客さまへの配慮を第一に考え、ストレスを感じることのない店舗「ストレスフリー」をコンセプトとし、「全自動貸金庫の休日稼働と稼働時間の延長」や「電子記帳台」など当行初の取り組みを多数導入しております。



興津支店•八木間支店

■ 5. CSRへの取り組み

文化的事業への協賛

平成27年9月、当行が協賛する静岡交響楽団 第60回定期演奏会「常任指揮者就任披露コンサート」が静岡市清水文化会館マリナートで開催され、迫力ある演奏で多くの観客を魅了しました。

また、平成27年9月には静岡県立美術館において開催された「富士山一信仰と芸術一」、12月から静岡市美術館において開催された「芹沢銈介生誕120年記念展」に協賛しました。当行は文化的事業への協賛を通じ、継続的な地域振興に取り組んでまいります。



静岡交響楽団

●スポーツ振興への取り組み

平成27年10月、当行がオフィシャルクラブスポンサーを務める清水エスパルスのホーム最終戦「清水銀行デー」が開催されました。J1復帰に向けて、当行は清水エスパルスを応援してまいります。

また、平成28年1月「第48回清水銀行杯フレンドリーシティ清水少年少女 サッカー大会」を開催しました。今後も地域におけるスポーツ振興への取り組 みを継続してまいります。



清水エスパルス ©S-PLUSE

●地域行事への参加

当行は、毎年清水みなと祭りや富士まつり等の地域行事に積極的に参加しております。

平成27年には、より多くのお客さまに当行の「存在意義の発揮」を印象づけるため、法被を一新しました。

地域行事へ継続的に参加し、地域の活性化に貢献してまいります。



清水みなと祭り

●環境保全活動への取り組み

当行は地域の美しい景観を守るため、平成20年から三保松原での植林や下草刈、周辺の清掃活動を行っています。平成27年12月、清水銀行グループ入社予定の内定者たちが松枯れに強い抵抗性クロマッ70本を植え込みました。これまでに当行が植えたマッの本数は延べ1,620本となりました。

静岡県立大学「地域金融論」

当行は地域の学生の金融・経済に関する実践的な知識の習得に資するため、平成17年度より静岡県立大学経営情報学部にて「地域金融論」の講義を行っております。平成27年度は「地方創生」を講義の基調とし、静岡県の経済や魅力について取り上げました。

Ⅲ. 平成27年度実績と平成28年度数値目標

項 目	平成27年度			平成28年度目標
块 日 	目標	実績	達成率	十成20千反日悰
創業·新規事業支援融資実行件数	180件	234件	130.0%	180件
ビジネスマッチング成約件数	800件	1,311件	163.8%	1,200件
海外進出支援相談受付件数	100件	76件	76.0%	100件
認定支援機関等外部専門家・外部機関との連携件数	50件	73件	146.0%	50件